



はま だ 種 積 浜田ほづみ県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043(227)7411

一般質問に登壇

9月県議会

柏市特集

「園芸王国ちば」への近道

東葛の既存産地へ支援要望



本会議場の壇上から一般質問を行う浜田穂積県議

柏市選出で県議6期目に入り、自民党県連副会長の要職も務める浜田穂積(はまだ・ほづみ)県議は、9月定例県議会の一般質問に登壇し、東葛飾地域の農業問題や道路、教育問題を取り上げ、森田知事ら県執行部の考えをたどりました。冒頭、浜田県議は、東日本大震災の被災者の1日も早い復旧・復興を要望するとともに、東京電力福島原発事故による放射能汚染で、地元柏市が「ホットスポット」の汚名を被っている現状を訴え、県民生活に関わる深刻な問題を早急に解決するよう強く迫りました。

また、質問の中で浜田県議は、「園芸王国ちば」の確立には、東葛飾地域の既存の産地を重点的に支援することが近道だと強調し、風評被害を受けている農産物の直売所などへの支援を求めました。

浜田議員 千葉県が「園芸産出額の第1位奪還」を本気で目指し、「園芸王国ちば」を名実ともに確立するためには、園芸産出額トップの東葛飾をはじめとする既存産地を重点支援対象とし、発展させる必要があります。

こうした地域では、農業改良普及事業により、毎年80名近い農業後継者が育っており、彼ら若い担い手を後押しすることが、「園芸王国ちば」への近道だと確信しております。

そこで伺います。園芸産出額第1位を奪還するため、県はどのような取り組みを行っているのか。

浜田議員 東電の原発事故の影響で、柏市はホットスポットなどと呼ばれ、市内に設置されている農産物の直売所の売上高は、前年比3割減という結果になっています。風評被害により、売り上げの減少した東葛飾地域の直売所の支援を行うべきと思うのですが。

農林水産部長 東葛飾地域の直売所では、風評被害により売り上げが減少しているところもあり、農産物の安全性の確保や来場者増加に向けた対策が必要だと考えています。

このため県では、市町村と協力し、農産物の放射性物質のモニタリング検査を行うとともに、直売所の来場者数の増加に向け、8月

浜田議員 コメの放射性物質検査について、地域の実情に合った検査が必要だと考えるが、今年度の実績を踏まえ、来年度はどのように実施するのか。

農林水産部長 コメの放射性物質検査に当たっては、国の考え方に基つき、土壌

風評被害に対応し「直売所フェア」を開催

森田知事 本県の園芸農業は、農業産出額の5割を占め、本県農業を支える重要な部門です。何よりも生産性の向上と経営安定に向けた生産基盤の強化やマーケット需要に対応できる力強い産地づくりが重要です。

このため県では、安定生産や流通改善のための施設整備、省力化を図るための

機械の導入などを総合的に支援するほか、本年度から生産力や販売力の強化に取り組んでいる産地に対し、市場関係者をはじめとする専門家チームを派遣するなど、関係者一丸となって支援を行っているところです。

今後とも積極的な施策を展開し、日本一の園芸県を目指してまいります。

要望 県が新しい施策を立案する場合、地域に出向いて若い農業後継者の意見をしっかりと聞く機会をぜひ作ってもらうよう要望します。

来年度のコメの検査の考え方としては、本年産の検査実績を踏まえて国において検討することとなり、県としては新たに示される国の考え方を基に、市町村及び生産者等の協力を得ながら、できるだけ早期かつ短期間に円滑な検査を実施してまいりたいと考えています。

千葉県や柏市へのご意見、ご要望をお寄せください

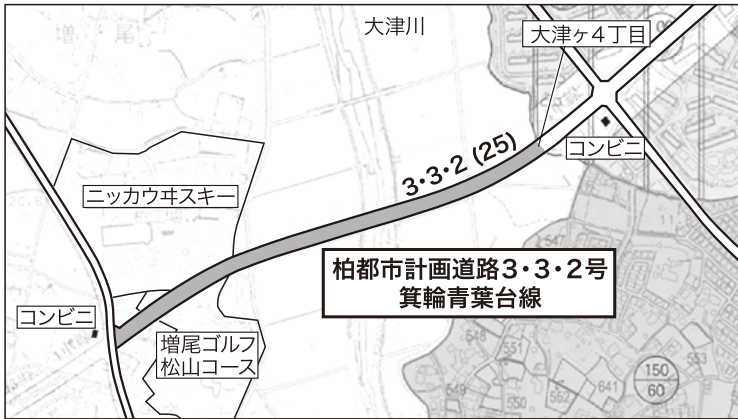
浜田ほづみ 県議

〒277-0921 柏市大津ケ丘1-30-5 TEL.04-7193-4757

ホームページもご覧下さい <http://hhozumi.main.jp/>

都計箕輪青葉台線は年度末供用へ 千葉柏道路推進へ行動起こせ!

都計箕輪青葉台線は年度末供用へ



箕輪青葉台線
浜田議員 柏都市計画道路
路箕輪青葉台線は、全線開

通すると松戸市境の柏市青葉台から柏市大津ヶ丘を経て、国道16号と交差して我孫子市方面や取手市方面へアクセスするなど極めて重要な道路です。

柏都市計画道路路箕輪青葉台線は、旧柏市南部と旧沼南町中心部を結ぶ主要な幹線道路であり、現在、東武野田線と立体交差する0・8キロメートルについて、事業を進めているところですが、今年度末の

県土整備部長 柏都市計画道路路箕輪青葉台線は、旧柏市南部と旧沼南町中心部を結ぶ主要な幹線道路であり、現在、東武野田線と立体交差する0・8キロメートルについて、事業を進めているところですが、今年度末の

国道16号の交通量
浜田議員 最新の調査では、国道16号柏市付近の交通量は約5万6千台と推定されています。

国道16号の交通量
浜田議員 最新の調査では、国道16号柏市付近の交通量は約5万6千台と推定されています。

県土整備部長 国道16号の渋滞対策としては、これまで柏市内で6カ所の交差点改良と7カ所のバスベイスの設置が行われ、今年度も十余二工業団地入口付近での交差点改良が進められています。また、今年6月には国や県などで構成される「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会」が設立され、主要な渋滞箇所の効果的な対策を推進することにしています。

千台となっており、また、近傍の若柴交差点付近では約5万4千台、大島田交差点付近では5万5千台の日交通量となっています。



本会議場の自席から再質問に立つ浜田県議

千葉柏道路計画

浜田議員 国道16号の渋滞緩和に向けた対策と千葉柏道路計画の取り組み状況はどうか。

県土整備部長 国道16号の渋滞対策としては、これまで柏市内で6カ所の交差点改良と7カ所のバスベイスの設置が行われ、今年度も十余二工業団地入口付近での交差点改良が進められています。また、今年6月には国や県などで構成される「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会」が設立され、主要な渋滞箇所の効果的な対策を推進することにしています。

千台となっており、また、近傍の若柴交差点付近では約5万4千台、大島田交差点付近では5万5千台の日交通量となっています。

千台となっており、また、近傍の若柴交差点付近では約5万4千台、大島田交差点付近では5万5千台の日交通量となっています。

中学校の武道必須化状況

路の推進に向け具体的な行動を起こしていただきたい。関係市長も一緒に推進行動していくとの確認をいただいています。

浜田議員

中学校の武道の必須化は、本年度から実施され、開始に当たっては事故を心配する議論もありましたが、事故の起きないような指導体制を整え、伝統的な考え方が理解されるよう厚みのある授業が展開されることを期待しています。武道の授業の実施状況はどうか。また、指導内容はどのようなものか。

教育長

平成24年度の武道授業の実施状況は、県内公立中学校383校中、柔道261校、剣道167校、相撲15校となっており、複数の種目を実施している学校もあります。

指導内容は、安全性に十分配慮した上で、必修である1・2年生では基本動作や基本となる技を習得させながら、技ができる楽しさや喜びを教え、選択となる

土地改良事業の見通し

3年生では、技を高めて勝敗を競う楽しさを教えるとともに、得意技を身に付けさせています。合わせて、武道学習全体をおして礼法を学ばせる中で、相手を尊重する態度を育て、礼に始まり礼に終わるなどの伝統的な行動の仕方を大切にする気持ちを育むこととしています。

浜田議員

武道の授業を今後どのように充実させていくのか。

教育長 武道の授業の充実には、教員の指導力向上が重要ですので、県教育委員会では、武道関係団体の

中学校の武道必修化については、千葉県剣道連盟も協力する中で、外部指導者として活用していただきたい。

浜田議員 農業農村整備事業の中長期的な計画はどうなっているのか。

森田知事

県では、農業農村整備事業を千葉県総合計画「輝け！ちば元気プラン」において、平成22年度から3年間に重点的に取り組む施策として位置づけており、具体的には①農業生産の向上とともに、担い手対策となる農地の基盤整備面積493ヘクタール②排水施設の新設・改修により、農地を洪水被害から守る改善面積2491ヘクタールを整備目標としているところ。

浜田議員 農業農村整備事業の今後の見通しはどうか。

農林水産部長 同事業に

土地改良事業の問題で、事業繰り越しが常態化しているという事があるが、事業実施に直接携わっている部署等の人員配置の減、あるいは財源問題もあるのではという心配はありますが、予算の縮小、細分化にも問題があると思われま。これらについては、私もしっかりと取り組んでまいります。